

診療科長に聴く メンタルヘルス科編

メンタルヘルス科 教授
ヒガシ シンジ
東 晋二



本日は、メンタルヘルス科の診療科長である東 晋二教授にお話を伺います。

Q：メンタルヘルス科の診療科長である東 晋二先生の専門分野、学会の役員や授賞歴もお願いします。

A：専門分野は、認知症と老年精神医学です。

学会の役員は、日本認知症学会：代議員、日本老年精神医学会：評議員、および日本神経精神医学会：評議員を務めております。

Q：東先生が力を入れている診療、あるいは診療技術、治療はどのようなものでしょうか？

A：認知症の症候学が専門になります。図1に示すように、認知症の症状は記憶の障害だけでなく、多岐に渡ります。それぞれ、気を付ける対処法が異なります。また、認知症の心理症状、行動障害の向精神薬の使用ガイドラインの作成にも参加しております。認知症の進行抑制の治療だけでなく、認知症の人の理解や、心理面・行動面の治療も行っています。



図1

*認知症では、記憶の障害だけでなく、視覚・空間・意欲・注意・言語など、様々な障害が出る場合があります。これは人によって異なります。検査では家族にも同席していただき、症状やケアの理解に役立てていただいております。

Q：メンタルヘルス科は、どのような疾患を対象にしていますでしょうか？

A：認知症や、老年期のうつ病などの精神的な疾患をはじめとして、広く一般精神に関わる病気を治療しています。

Q：メンタルヘルス科では、認知症に対して、どのような診療技術を駆使されているのでしょうか？

A：正常の加齢性変化による認知機能の低下と、神経の変性に伴う認知症を区別するためには、脳の画像検査と認知機能の検査が必要になります。専門的な医師の最終的な判断とともに、これらの結果をお伝えしています。

(裏面に続く)

聴き手
菅原信二

放射線科 教授

- 放射線学会
- 放射線治療専門医
- 放射線腫瘍学会 認定医
- 当院広報委員長

東京医科大学茨城医療センター

〒300-0395 茨城県稲敷郡阿見町中央 3-20-1 / TEL 029-887-1161

各診療科外来担当医につきましては、当院ホームページをご確認下さい。
<https://ksm.tokyo-med.ac.jp/>

紹介患者・医療連携については、総合相談支援センター 医療連携まで



(表面から続く)

Q：メンタルヘルス科では、心の疾患に対して、どのような診療技術を駆使されているのでしょうか？

A：精神的な不調の背景には、ストレス要因だけでなく、もともとの心理的な特徴が存在している場合があります。メンタルヘルス科では、心理検査を通して、自分の考え方の癖の背景にある認知的側面を調べて、日常生活の工夫の仕方などをフィードバックしています。

Q：メンタルヘルス科の医師数と主な医師（講師以上）の専門分野や得意な診療内容について教えてください。

A：常勤医師2名です。

科長の東の専門は認知症と老年期精神疾患です。

講師の宮崎の専門は不眠症治療です。



Q：大学のメンタルヘルス科として、行っている研究活動にはどのようなものがありますか？

A：2023年に認知症の新規治療薬が保険承認されました。認知症治療薬の進行抑制効果により、これまでの診療・介護モデルは新しいものに更新する必要があります。厚生労働科学特別研究事業として、認知症の早期例に対応する医療・福祉対策を含めた社会モデルの検証研究を行っています。

Q：メンタルヘルス科として、患者さんを診る上で診療のポリシーとしているものは、何でしょうか？

A：心理的、身体的、社会的要因を総合的に評価することで、問題を多面的に理解するように努めています。

また、科学的根拠に基づいた治療法を提供し、最新の医療知識を適用しています。

Q：受診する患者さまに一言お願いします。

A：高齢化社会や、現代社会特有のストレスなどから、メンタルヘルス科や精神科、心療内科が取り扱う病気の種類も変わってきました。気になる方は受診してご相談ください。